



佐野 サヤカ ①

(医)智徳会 ファミリー歯科医院



地震が起きた時、私は子供の保護者会出席のため小学校にいた。大地震が来たら崩壊する可能性が高いため、建て直しを計画中の学校だ。小さい机の下にもぐりこみ、長い揺れを感じながら、「もしかし

て死んじゃうのかも」と考えていた。

子供を連れての帰り道も、余震があり、近くの電柱が動揺2〜3程度(?)に揺れていて、安全な場所を探すのに苦労した。後から聞いたが、体育館の壁が一部崩れ、けが人が出たとのことだった。

子供は心配でしょ。

コスモ石油の火災で有害物質が出てきていて、雨が降ると、体に付着して危険だという情報であった。これは大変一大事と思い、知り合いにメールしたところ、「それはデマ情報。チェーンメールを回さないよう報道されている」と

チェーンメールにご用心

あの大地震から2日後、家で地震関連のニュースを聞いていた時、叔母からの電話があった。「おばちゃんのお友達

がコスモ石油に勤めていて、その人から聞いたんだけど……。ニュースでもやっていないから、なるべく多くの人に知らせてほしいの。特に

知らされた。あー。引っかけた。不安なところに、親切な助言。まさかそれがデマだとは

夢にも思わなかった。叔母も信じて疑わなかったに違いない。知らず知らずに自分がだます側になってしまふ恐怖。特に、親切な人ほど、だます側

になってしまえうだ。

現実ではない情報といえ、歯科医療でも似たようなことはあるのではないか。以前マスコミをにぎわせた、あの方法やこの方法……。きっとその治療を推進している先生方は、患者さんのためにと思って始めたと思う。ただ、普通に考えれば無理だ。ほとんどの先生方が気づくであろうものの中にはある。

とかくマスコミはセンサーショナルで目新しいことを報道したが、間違った情報だとしても、その後の訂正報道はほとんどない。私たちは、情報に振り回されている患者さんたちに正しい情報を提供できるように研鑽(けんくわん)し続けなければならない。